

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		作業学習 カフェ・ショップサービス (トライアル)			
目標	(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。				
	(思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。				
	(学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「給食配膳・清掃(1)」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39
	「オリエンテーション(1)(2)」		(知) カフェ・ショップサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4
	「販売するメニューを考えよう(1)」【校外学習】 ・学校近隣の店の見学(スーパーマーケット、食堂など) ・『カフェ』運営に向けた取組(メニューの開発・検討、使用物品の検討・発注、買い出し、調理、片付け、振り返り、役割練習など)		(知) 販売するメニューや業務内容について理解し、調理するメニューや手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせたメニューの販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) メニュー開発や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		70
	「販売する商品を考えよう(1)」【校外学習】 ・『ショップ』運営に向けた取組(販売商品の検討・仕分け・発注・仕入れ、販売商品の製作、役割練習など)		(知) 販売する商品や業務内容について理解し、製作する商品や販売の手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 商品製作や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		30
	「請負作業(1)」 ・用紙やインクなどの管理 ・自動販売機の管理 ・名刺作成		(知) 依頼された仕事の内容を理解し、身に付けてきた知識や技術を活用して実践することができる。 (思) 自分から手順を考えたり、確認したりしながら、主体的に作業を進めていくことができる。 (学) 依頼者からの依頼どりに作業を遂行したり、責任感をもって作業を行ったりしようとする態度を養う。		24
	「活動を振り返ろう(1)」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
1学期授業時数					169
2 学 期	「給食配膳・清掃(2)」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45
	「オリエンテーション(3)」		(知) カフェ・ショップサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「販売するメニューを考えよう(2)」【校外学習】 ・学校近隣の店の見学(スーパーマーケット、食堂など) ・『カフェ』運営に向けた取組(メニューの開発・検討、使用物品の検討・発注、買い出し、調理、片付け、振り返り、役割練習など)		(知) 販売するメニューや業務内容について理解し、調理するメニューや手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせたメニューの販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) メニュー開発や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		60
	「販売する商品を考えよう(2)」【校外学習】 ・『ショップ』運営に向けた取組(販売商品の検討・仕分け・発注・仕入れ、販売商品の製作、役割練習など)		(知) 販売する商品や業務内容について理解し、製作する商品や販売の手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 商品製作や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		25
	「請負作業(2)」 ・用紙やインクなどの管理 ・自動販売機の管理 ・名刺作成		(知) 依頼された仕事の内容を理解し、身に付けてきた知識や技術を活用して実践することができる。 (思) 自分から手順を考えたり、確認したりしながら、主体的に作業を進めていくことができる。 (学) 依頼者からの依頼どりに作業を遂行したり、責任感をもって作業を行ったりしようとする態度を養う。		16
	「カフェ・ショップを運営しよう(1)」		(知) 販売・調理の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法や効率の良い調理方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売、調理をしようとする態度を養う。		18
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など) ・『出店』の運営		(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25
「活動を振り返ろう(2)(3)」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。	4		
2学期授業時数					195
3 学 期	「給食配膳・清掃(3)」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21
	「オリエンテーション(4)」		(知) カフェ・ショップサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「販売するメニューを考えよう(3)」【校外学習】 ・学校近隣の店の見学(スーパーマーケット、食堂など) ・『カフェ』運営に向けた取組(メニューの開発・検討、使用物品の検討・発注、買い出し、調理、片付け、振り返り、役割練習など)		(知) 販売するメニューや業務内容について理解し、調理するメニューや手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせたメニューの販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) メニュー開発や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		30
	「販売する商品を考えよう(3)」【校外学習】 ・『ショップ』運営に向けた取組(販売商品の検討・仕分け・発注・仕入れ、販売商品の製作、役割練習など)		(知) 販売する商品や業務内容について理解し、製作する商品や販売の手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 商品製作や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		12
	「請負作業(3)」 ・用紙やインクなどの管理 ・自動販売機の管理 ・名刺作成		(知) 依頼された仕事の内容を理解し、身に付けてきた知識や技術を活用して実践することができる。 (思) 自分から手順を考えたり、確認したりしながら、主体的に作業を進めていくことができる。 (学) 依頼者からの依頼どりに作業を遂行したり、責任感をもって作業を行ったりしようとする態度を養う。		9
	「カフェ・ショップを運営しよう(2)」		(知) 販売・調理の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法や効率の良い調理方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売、調理をしようとする態度を養う。		15
	「活動を振り返ろう(4)」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
3学期授業時数					91
総授業時数					455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		作業学習 クリーニングサービス (トライアル)			
目標	(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。 (思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。 (学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
1 学 期	「給食配膳・清掃（１）」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39	
	「オリエンテーション（１）（２）」	(知) クリーニングサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中での自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4	
	「クリーニングの技術を習得しよう（１）」 ・エプロン・はっぱ・ゼッケンなどの クリーニング	(知) エプロンの仕分け作業、本洗・乾燥作業、アイロン掛け作業、たたみ・包装作業に必要な技術や道具の扱い方について理解し、作業の中で丁寧に、正確に行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の習得に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		120	
	「カッターシャツのクリーニング技術を習得しよう（１）」 ・社会人講師による指導	(知) カッターシャツのアイロンの仕方やのり付けの仕方などについて理解し、作業を行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の習得に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		4	
	「活動を振り返ろう（１）」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2	
1学期授業時数				169	
2 学 期	「給食配膳・清掃（２）」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45	
	「オリエンテーション（３）」	(知) クリーニングサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中での自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2	
	「クリーニングの技術を習得しよう（２）」 ・エプロン・はっぱ・ゼッケンなどの クリーニング	(知) エプロンの仕分け作業、本洗・乾燥作業、アイロン掛け作業、たたみ・包装作業に必要な技術や道具の扱い方について理解し、作業の中で丁寧に、正確に行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の習得に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		117	
	「カッターシャツのクリーニング技術を習得しよう（２）」 ・社会人講師による指導	(知) カッターシャツのアイロンの仕方やのり付けの仕方などについて理解し、作業を行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の習得に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		2	
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組（店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など）	(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25	
	「活動を振り返ろう（２）（３）」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		4	
2学期授業時数				195	
3 学 期	「給食配膳・清掃（３）」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21	
	「オリエンテーション（４）」	(知) クリーニングサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中での自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2	
	「クリーニングの技術を習得しよう（３）」 ・エプロン・はっぱ・ゼッケンなどの クリーニング	(知) エプロンの仕分け作業、本洗・乾燥作業、アイロン掛け作業、たたみ・包装作業に必要な技術や道具の扱い方について理解し、作業の中で丁寧に、正確に行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の習得に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		64	
	「カッターシャツのクリーニング技術を習得しよう（３）」 ・社会人講師による指導	(知) カッターシャツのアイロンの仕方やのり付けの仕方などについて理解し、作業を行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の習得に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		2	
	「活動を振り返ろう（４）」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2	
3学期授業時数				91	
総授業時数				455	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		作業学習 ビルメンテナンスサービス (トライアル)			
目標	(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。				
	(思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。				
	(学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「給食配膳・清掃(1)」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39
	「オリエンテーション(1)(2)」		(知) ビルメンテナンスサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中での自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4
	「清掃の手順を習得しよう(1)」		(知) 清掃場所に応じた清掃手順や道具の使い方について理解することができる。 (思) 作業を効率的に行うための手順や方法を考えることができる。 (学) 友達や先輩と協力したり、先輩の指示を聞いたりしながら、作業を行おうとする態度を養う。		35
	「校内清掃をしよう(1)」 ・廊下・教室・窓ガラスなどの清掃 ・洗車 ・自転車清掃		(知) 自在ぼうきやタオル、ダスタークロスやモップ、スクイージーやスポンジなどの正しい扱い方を身に付け、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃場所について相談して決めたり、工夫したりして、清掃することができる。 (学) 清掃を通して、学校に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		84
	「校外清掃をしよう(1)」【校外学習】		(知) 清掃場所に応じた道具とその扱い方について理解し、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃の手順や分担について相談して決めたり、工夫したりして清掃することができる。 (学) 清掃を通して、地域に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		5
	「活動を振り返ろう(1)」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
	1学期授業時数				
2 学 期	「給食配膳・清掃(2)」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45
	「オリエンテーション(3)」		(知) ビルメンテナンスサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中での自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「清掃の手順を習得しよう(2)」		(知) 清掃場所に応じた清掃手順や道具の使い方について理解することができる。 (思) 作業を効率的に行うための手順や方法を考えることができる。 (学) 友達や先輩と協力したり、先輩の指示を聞いたりしながら、作業を行おうとする態度を養う。		24
	「校内清掃をしよう(2)」 ・廊下、教室、窓等の清掃 ・洗車 ・自転車清掃		(知) 自在ぼうきやタオル、ダスタークロスやモップ、スクイージーやスポンジなどの正しい扱い方を身に付け、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃場所について相談して決めたり、工夫したりして、清掃することができる。 (学) 清掃を通して、学校に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		85
	「校外清掃をしよう(2)」【校外学習】		(知) 清掃場所に応じた道具とその扱い方について理解し、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃の手順や分担について相談して決めたり、工夫したりして清掃することができる。 (学) 清掃を通して、地域に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		10
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など)		(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25
	「活動を振り返ろう(2)(3)」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		4
2学期授業時数					195
3 学 期	「給食配膳・清掃(3)」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21
	「オリエンテーション(4)」		(知) ビルメンテナンスサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中での自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「清掃の手順を習得しよう(3)」		(知) 清掃場所に応じた清掃手順や道具の使い方について理解することができる。 (思) 作業を効率的に行うための手順や方法を考えることができる。 (学) 友達や先輩と協力したり、先輩の指示を聞いたりしながら、作業を行おうとする態度を養う。		15
	「校内清掃をしよう(3)」 ・廊下、教室、窓等の清掃 ・洗車 ・自転車清掃		(知) 自在ぼうきやタオル、ダスタークロスやモップ、スクイージーやスポンジなどの正しい扱い方を身に付け、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃場所について相談して決めたり、工夫したりして、清掃することができる。 (学) 清掃を通して、学校に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		46
	「校外清掃をしよう(3)」【校外学習】		(知) 清掃場所に応じた道具とその扱い方について理解し、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃の手順や分担について相談して決めたり、工夫したりして清掃することができる。 (学) 清掃を通して、地域に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		5
	「活動を振り返ろう(4)」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
3学期授業時数					91
総授業時数					455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		作業学習 フードサービス (トライアル)			
目標	(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。 (思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。 (学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
1 学 期	「給食配膳・清掃(1)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39	
	「オリエンテーション(1)(2)」	(知) フードサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4	
	「パン作りをしよう(1)」	(知) 道具を正確に扱い、丁寧さを保ちつつ、技術やスピードの向上を図ることができる。 (思) 自分の役割を理解し、全体を見て必要な道具を準備したり、正確に作業をするためのポイントを確認したりしながら、作業を行うことができる。 (学) お客様に買っていただくことを意識しながら、衛生面や丁寧さを意識して作業を行おうとする態度を養う。		96	
	「販売をしよう(1)」【校外学習】 ・校内・校外販売	(知) 販売の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売をしようとする態度を養う。		28	
	「活動を振り返ろう(1)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2	
1学期授業時数				169	
2 学 期	「給食配膳・清掃(2)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45	
	「オリエンテーション(3)」	(知) フードサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2	
	「パン作りをしよう(2)」	(知) 道具を正確に扱い、丁寧さを保ちつつ、技術やスピードの向上を図ることができる。 (思) 自分の役割を理解し、全体を見て必要な道具を準備したり、正確に作業をするためのポイントを確認したりしながら、作業を行うことができる。 (学) お客様に買っていただくことを意識しながら、衛生面や丁寧さを意識して作業を行おうとする態度を養う。		85	
	「販売をしよう(2)」【校外学習】 ・校内・校外販売	(知) 販売の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売をしようとする態度を養う。		34	
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など)	(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25	
	「活動を振り返ろう(2)(3)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		4	
2学期授業時数				195	
3 学 期	「給食配膳・清掃(3)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21	
	「オリエンテーション(4)」	(知) フードサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 一緒に活動する友達や先輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2	
	「パン作りをしよう(3)」	(知) 道具を正確に扱い、丁寧さを保ちつつ、技術やスピードの向上を図ることができる。 (思) 自分の役割を理解し、全体を見て必要な道具を準備したり、正確に作業をするためのポイントを確認したりしながら、作業を行うことができる。 (学) お客様に買っていただくことを意識しながら、衛生面や丁寧さを意識して作業を行おうとする態度を養う。		48	
	「販売をしよう(3)」【校外学習】 ・校内・校外販売	(知) 販売の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売をしようとする態度を養う。		18	
	「活動を振り返ろう(4)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2	
3学期授業時数				91	
総授業時数				455	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等		教科書	
高等部 第1学年 職業コース		チャレンジタイム		①道徳「私たちの未来 未来の私たち」（開隆堂）	
目標	(知) 社会的・職業的自立について理解し、集団や社会での関わり方や職場実習において必要な知識や技能を身に付ける。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを判断し、多様な他者と一緒に考えたり、協議したりして、実践することができる。 (学) 自分から進んで集団での活動を行い、社会人としての在り方に関する自覚を深めたり、社会に貢献したりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1学期	「検定の取組（1）」 ・技能検定、漢字検定など		(知) 社会的・職業的自立について理解し、集団や社会での関わり方や職場実習において必要な知識や技能を身に付ける。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを判断し、多様な他者とともに考えたり、協議したりして、実践することができる。 (学) 自分から進んで集団での活動を行い、社会人としての在り方に関する自覚を深めたり、社会に貢献したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「合同ホームルームでの取組（1）」 ・コース集会 ・サークル活動		(知) 異年齢集団における自分の役割を理解し、集団の仲間と協働して行ったり、課題を解決する方法を理解したりすることができる。 (思) 異年齢集団の中での自分の役割や行動について考えたり、課題の解決に向けて、自分から表現したりすることができる。 (学) 集団における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	4
	「道徳（1）」 ・集団や社会との関わりに関すること ・自分自身に関すること ・人との関わりに関すること	①	(知) 自己の生き方の考え方や人間としての生き方の知識を身に付ける。 (思) 人間としての在り方や生き方を考えたり、主体的な判断の下に行動したりして実践することができる。 (学) 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる態度を養う。	コース学年 学級	4
1学期授業時数					13
2学期	「検定の取組（2）」 ・技能検定、漢字検定など		(知) 社会的・職業的自立について理解し、集団や社会での関わり方や職場実習において必要な知識や技能を身に付ける。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを判断し、多様な他者とともに考えたり、協議したりして、実践することができる。 (学) 自分から進んで集団での活動を行い、社会人としての在り方に関する自覚を深めたり、社会に貢献したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	6
	「合同ホームルームでの取組（2）」 ・コース集会 ・サークル活動		(知) 異年齢集団における自分の役割を理解し、集団の仲間と協働して行ったり、課題を解決する方法を理解したりすることができる。 (思) 異年齢集団の中での自分の役割や行動について考えたり、課題の解決に向けて、自分から表現したりすることができる。 (学) 集団における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	4
	「道徳（2）」 ・集団や社会との関わりに関すること（家族愛、家庭生活の充実など） ・自分自身に関すること ・人との関わりに関すること ・生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	①	(知) 自己の生き方の考え方や人間としての生き方の知識を身に付ける。 (思) 人間としての在り方や生き方を考えたり、主体的な判断の下に行動したりして実践することができる。 (学) 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる態度を養う。	コース学年 学級	5
2学期授業時数					15
3学期	「合同ホームルームでの取組（3）」 ・コース集会 ・サークル活動		(知) 異年齢集団における自分の役割を理解し、集団の仲間と協働して行ったり、課題を解決する方法を理解したりすることができる。 (思) 異年齢集団の中での自分の役割や行動について考えたり、課題の解決に向けて、自分から表現したりすることができる。 (学) 集団における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	4
	「道徳（3）」 ・集団や社会との関わりに関すること（国際理解、国際貢献） ・自分自身に関すること ・人との関わりに関すること	①	(知) 自己の生き方の考え方や人間としての生き方の知識を身に付ける。 (思) 人間としての在り方や生き方を考えたり、主体的な判断の下に行動したりして実践することができる。 (学) 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる態度を養う。	コース学年 学級	3
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		国語科	①国語「くらしに役立つ国語」（東洋館）		
目標	(知) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (思) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養ったり、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができる。 (学) 国語に親しんだり、理解したりすることを通して、自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「自己紹介をしよう」 ・自己紹介の文章を作り、発表する。	①	(知) 学級の友達とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気付くことができる。 (思) 自己紹介の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。 (学) 自己紹介を通して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	コース学年 学級	1
	「表現力を高めよう(1)」 ・電話の使い方やマナーなどについて知り、状況や場面に応じた掛け方を実践する。 ・敬語について知り、実践する。	①	(知) 電話の使い方やマナーなどを理解することができる。 (思) 電話の使い方やマナーなどを知り、表現しようとすることができる。 (学) 日常よく使われる敬語を使って、話そうとする態度を養う。		3.5
	「辞書を活用しよう」 ・国語辞典や漢字辞典の使い方を知り、活用する。	①	(知) 国語辞典や漢字辞典の使い方を知り、語句を調べることができる。 (思) 表現したり、理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしようとすることができる。 (学) 国語辞典や漢字辞典の使い方を知り、活用しようとする態度を養う。		2
1 学期授業時数					6.5
2 学 期	「作文を書こう」 ・作文の書き方や決まりなどについて知る。 ・「夏休みの思い出」などについて作文を書く。	①	(知) 作文の書き方の手順や決まりを理解することができる。 (思) 経験したことを、筋道が通った文章になるように、構成を考えながら書くことができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。	コース学年 学級	2.5
	「古典に親しもう(1)」【読書指導】 ・言葉の違いに気付いたり、和歌の意味を知ったりする。 ・好きな百人一首の意味を知り、和紙などに書く。	①	(知) 親しみやすい和歌などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 言葉の響きやリズムの表現の効果を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。		5
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	「古典に親しもう(2)」 ・百人一首かるたを行う。	①	(知) 親しみやすい和歌などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 言葉の響きやリズムの表現の効果を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。	コース学年 学級	1
	「表現力を高めよう(2)」 ・感想と本当にあったことを区別した文章を書く。	①	(知) 読みやすい文章の構成や、ふさわしい文と文のつながりを理解することができる。 (思) 自分の思いを文章にして、表現することができる。 (学) 自分の思いや考えを伝えようとする態度を養う。		2.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		社会科	①社会「ひとりだちするための社会」（日本教育研究出版） ②地図「なんでもひける日本地図 新版」（成美堂出版）		
目標	(知) 地域の様子や社会参加するための決まり、公共施設の役割と制度について理解することができる。 (思) 社会的事象の特色や相互の関連を自分の生活と結び付け、社会との関わり方を選択したり、判断したりすることができる。 (学) 社会に主体的に関わろうとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「広島地理と歴史について」 ・七つの区と地図 ・歴史上の人物 ・広島県の各市の特徴	①②	(知) 広島市の地図の読み取りを行い、七つの区や流れている川、主な土地などについて知ることができる。 (思) 地図で探したり、各種資料を調べたりしながら、広島地理や歴史について表現することができる。 (学) 広島に住んでいる者としての自覚や、人々と協力して生活しようとする態度を養う。	コース学年 学級	3.5
	「防災について」 ・ハザードマップ ・防災グッズ	①	(知) 自然災害から生活を守るために、様々な対策や事業が進められていることを理解することができる。 (思) 自分の居住地域のハザードマップを調べたり、避難場所を確認したりして、マイタイムラインを作成することができる。 (学) ハザードマップや避難場所を調べたり、防災グッズを考えたりする活動を通して、防災の意識を高めようとする態度を養う。		2
	「私たちの国土（1）」 ・都道府県の特徴 ・地方の特徴	①②	(知) 日本の国土の概要や特色について理解することができる。 (思) 日本の国土の様子や特色を調べたり、考えたりしたことを表現することができる。 (学) 日本の国土や自然を大切にしようとする態度を養う。		1
1 学期授業時数					6.5
2 学期	「私たちの国土（2）」 ・都道府県の特徴 ・地方の特徴	①②	(知) 日本の国土の概要や特色について理解することができる。 (思) 日本の国土の様子や特色を調べたり、考えたりしたことを表現することができる。 (学) 日本の国土や自然を大切にしようとする態度を養う。	コース学年 学級	6.5
	「政治の仕組み（1）」 ・国会	①	(知) 国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができる。 (思) 国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを表現することができる。 (学) 政治と自分たちの生活のつながりに関心を持ち、社会に参加しようとする態度を養う。		1
2 学期授業時数					7.5
3 学期	「政治の仕組み（2）」 ・内閣 ・裁判所 ・三権分立	①	(知) 国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができる。 (思) 国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを表現することができる。 (学) 政治と自分たちの生活のつながりに関心を持ち、社会に参加しようとする態度を養う。	コース学年 学級	2.5
	「選挙について」【主権者教育】 ・選挙権の歴史 ・18歳選挙権について	①	(知) 18歳で成人となり、選挙権が与えられることについて理解することができる。 (思) 成人となることについて自分の考えを表現したり、相手の考えを聞いて比較したりすることができる。 (学) 地域社会の一員であるという気持ちや責任ある行動をしようとする態度を養う。		1
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		数学科	①数学「くらしに役立つ数学」（東洋館）		
目標	（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 （思）日常の事象を数学的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付ける。 （学）数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考える態度や、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「数と計算（１）」 ・基礎的な四則計算 ・大きい数 ・小数（加法・減法） ・分数（真分数・帯分数・仮分数）	①	（知）分数・小数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、計算に関する意味や法則について理解し、それらを計算する技能を身に付ける。 （思）数とその表現や計算の意味に着目し、数の表し方や計算の仕方などを考察するとともに、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を身に付ける。 （学）数量について数学的に表現・処理したことを振り返ったり、数学の良さを実感したりし、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	コース学年 学級	6.5
1 学期授業時数					6.5
2 学 期	「数と計算（２）」 ・およその数（四捨五入、切り上げ、切り捨て） ・「買物をしよう」	①	（知）整数や概数の意味と表し方について理解するとともに、計算に関する意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付ける。 （思）整数と概数の表現や計算の意味に着目し、数の表し方や計算の仕方などを考察するとともに、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を身に付ける。 （学）数量について数学的に表現・処理したことを振り返ったり、数学の良さを実感したりし、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	コース学年 学級	7.5
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	「測定」 ・時刻と時間 ・「図書館へ行こう」 ・「友達との待ち合わせ」	①	（知）身の回りにある時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさに関する感覚を豊かにするとともに、それらを測定することに関する技能を身に付ける。 （思）身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を身に付ける。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	コース学年 学級	3.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		理科	①理科「くらしに役立つ理科」(東洋館)		
目標	(知) 自然の事物・現象についての理解を高め、観察や実験に関する技能を身に付ける。 (思) 観察や実験を通して、解決の方法を考える力を身に付ける。 (学) 自然を愛する心を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「生命について」 ・植物の発芽・生長・結実 ・人の体のつくりと働き	①	(知) 生命の体のつくりと働きや生物と環境との関わりについて知ることができる。 (思) 生物の体のつくりと働きや生物と環境について調べる中で、それらの働きや関わりについて考えることができる。 (学) 生命を尊重する態度や学んだことを日々の生活に生かそうとする態度を養う。	コース学年 学級	6.5
1学期授業時数					6.5
2 学期	「地球・自然について」 ・天気の変化、自然災害 ・天体	①	(知) 気象現象や土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について知ることができる。 (思) 気象現象や土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について調べたり、表現したりすることができる。 (学) 生活の中で自然災害が起きることを予想し、防災や対策について意識したり、行動したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「物質・エネルギーについて(1)」 ・燃焼の仕組み	①	(知) 燃焼の仕組みについて知ることができる。 (思) 燃焼の仕組みについて調べる中で、仕組みや性質について考えることができる。 (学) 燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日々の生活に生かそうとする態度を養う。		2.5
2学期授業時数					7.5
3 学期	「物質・エネルギーについて(2)」 ・水溶液の性質 ・てこの規則性	①	(知) 水溶液の性質や働き、てこの規則性について知ることができる。 (思) 水溶液の性質や働き、てこの規則性について調べる中で、仕組みや性質について考えることができる。 (学) 水溶液の性質や働き、てこの規則性について調べ、学んだことを日々の生活に生かそうとする態度を養う。	コース学年 学級	3.5
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		音楽科	①音楽「くらしに役立つ音楽」（東洋館）		
目標	(知) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現をするために必要な歌唱や器楽の身体技能を身に付ける。 (思) 創意工夫をしながら自分なりの音楽表現をしたり、音楽の美しさを味わいながら鑑賞したりすることができる。 (学) 主体的・協働的に表現や鑑賞の学習を行い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	歌唱「歌練習（1）」	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや、声の音色や響きと発声の関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。 (知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。 (知) 身体表現の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。 (知) 鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解したりすることができる。 (思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 (思) 器楽の活動を通して、器楽表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。 (思) 身体表現の活動を通して、身体表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。 (思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞に関する知識を得たり、生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。 (学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習を行い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていこうとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	10.4
	歌唱「校歌を歌おう」			コース学年 学級	2
	歌唱「季節を感じて歌おう（1）」	①			2
	器楽「楽器演奏に親しもう（1）」	①			3
	鑑賞「世界の名曲を観賞しよう」	①			1
	歌唱「合唱にチャレンジしよう（1）」	①		コース全体 コース学年 学級	5
	1学期授業時数				23.4
2 学 期	歌唱「歌練習（2）」	①	コース全体 コース学年 学級	12	
	歌唱「季節を感じて歌おう（2）」	①		コース学年 学級	2
	鑑賞「日本の伝統音楽に親しもう」	①			2
	器楽「楽器演奏に親しもう（2）」	①			6
	歌唱「合唱にチャレンジしよう（2）」	①		コース全体 コース学級 学級	5
2学期授業時数				27	
3 学 期	歌唱「歌練習（3）」	①	コース全体 コース学年 学級	5.6	
	歌唱「心を込めて歌おう」	①		コース学年 学級	6
	「まとめをしよう」	①			1
3学期授業時数				12.6	
総授業時数				63	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		美術科	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解 はじめての絵画」(小学館)		
目標	(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表すことができる。 (思) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学) 楽しく美術の活動を行い、創造活動の喜びを味わったり、美術を愛好する心情を培ったりして、心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「いろいろな技法(モダンテクニックを含めて)」 ○基本的な画材の使い方や技法の習得 ・絵の具や筆など基本的な画材の使い方の理解 ○モダンテクニックを用いた表現 ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックの理解 ・筆やスタンプなどの道具を用いた表現 ・モダンテクニックを用いた表現 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を理解して操作し、作品を上げることができる。 (思) いろいろな技法を使い、自分で工夫しながら表現することができる。 (学) 制作活動を通して、いろいろな技法を理解し、創造する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
	「学校を描こう～学校や教室にあるものを描く～」 ○基本的な画材を用いた絵画の制作 ・描く対象を決めて鉛筆で描写 ・校舎や教室などの建物や空間の描写 ・校内にある植物や教室にある物などの描写 ・水彩絵の具や色鉛筆などを用いた着色 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、対象を捉えて線描などで表現し彩色することができる。 (思) 身近にある建物や物の全体や一部をモチーフとしてよく観察して描き、表現することができる。 (学) 制作活動を通して、基本的な描画技法を理解し、創造する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。		6
1 学期授業時数					13
2 学期	「絵画の制作」 ○モダンテクニックを用いた絵画の制作 ・デザインやテーマの検討 ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックを用いた表現 ・様々な道具や材料を用いた制作活動 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を理解して操作し、作品を上げることができる。 (思) 構図を考えて、技法や道具を選び、自分で工夫しながら表現することができる。 (学) 制作活動を通して、いろいろな技法を理解し、創造する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。	コース学年 学級	6
	「立体物の制作～貯金箱やお面作り～」 ○紙粘土を用いた立体作品の制作 ・デザインやテーマの検討 ・紙粘土を用いた立体作品の制作活動 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 粘土の性質を理解し、用途に合わせて選択した道具を扱って、粘土を形成することができる。 (思) 完成をイメージしながらデザイン画を描き、表現することができる。 (学) 貯金箱やお面作りに自発的に取り組み、創造する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。		9
2 学期授業時数					15
3 学期	「墨で描く～色紙や巻物に描く～」 ○墨や筆を用いた表現 ・デザインやテーマの検討 ・墨や筆を用いた表現の理解・体験 ・墨や筆を用いた表現 ・作品の展示・鑑賞	①	(知) 墨と筆の性質や扱い方を理解し、和紙に絵を描くことができる。 (思) 絵の構成を考え、墨の濃淡や線の太さ、鮮やかさなどを生かして表現することができる。 (学) 独特の味わいや美しさを感じ取り、工夫をしながら描いて、創造する喜びや達成感を感じようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		保健体育科	①保健体育「くらしに役立つ保健体育」（東洋館）		
目 標	(知) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深め、目的に応じた技能を身に付ける。				
	(思) 運動や健康・安全について自分の課題を理解し、その解決に向けて友達と考えて判断したり、伝えたりする力を身に付ける。				
	(学) 生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指して、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「体力づくり(1)」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エクササイズ ・ダンス ・体力テスト ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを知ることができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決することができるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	コース全体 学級	15.6
	「体育祭の取組」 ・集合・整列 ・種目練習 ・全体練習		(知) 集団行動でのルールや決まり、演技内容などを理解し、基本的な動作の正しい動き方を身に付ける。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 友達や先輩と協力して、種目などの練習を行おうとする態度を養う。		11
	「ニュースポーツ」 ・カローリング ・グラウンドゴルフ ・フライングディスク ・ボッチャ	①	(知) 友達と協力し、場や用具の安全面に気を付けて、生涯にわたってできる種目を行うことができる。 (思) ニュースポーツにおける自他の課題を発見し、解決するための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。	コース学年 学級	2
1 学期授業時数					28.6
2 学 期	「体力づくり(2)」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エクササイズ ・ダンス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決することができるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	コース全体 学級	18
	「水泳」 ・自由形 ・平泳ぎ	①	(知) 自由形や平泳ぎの特性を理解して泳ぐことができる。 (思) 課題を見付け、解決の方法を工夫したり、友達と考えたりすることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーを守り、友達と協力したり、場や用具の安全を確保したりして、自主的に運動しようとする態度を養う。	コース学年 学級	4
	「器械運動」 ・マット運動（前転、開脚前転、後転など）	①	(知) マット運動の基礎的な動きを身に付ける。 (思) 自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選ぶことができる。 (学) 良い技や演技に対して、称賛の言葉を掛けるなど、友達の努力を認めようとする態度を養う。		2
	「武道」 ・柔道 ・武道に関する鑑賞	①	(知) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能や基本動作を理解することができる。 (思) 武道に関する自他の課題を発見し、友達と工夫したり、考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 武道の多様な経験を通して、決まりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。		2
	「球技」 ・ゴール型（バスケットボール、サッカー、ボートボールなど） ・ネット型（バレーボール、卓球、バドミントンなど）	①	(知) 球技の各種目で用いられる技能の名称を知り、簡易化されたゲームをすることができる。 (思) 友達と協力する場面において、分担した役割に応じて活動をすることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、マナーを守ったり、相手の健闘を認めたりして、安全に運動しようとする態度を養う。		7
2 学期授業時数					33
3 学 期	「体力づくり(3)」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エクササイズ ・ダンス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決することができるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	コース全体 学級	8.4
	「性の学習」 ・男女の体の違い ・体のつくりと各器官の働き	①	(知) 男女の体の違いについて理解することができる。 (思) 男女の体の違いや体のつくりと各器官の働きについて考えることができる。 (学) 男女の体の違いを理解し、生活に生かそうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
	「陸上運動」 ・長距離走 ・短距離走 ・ハードル走 ・リレー ・投てき	①	(知) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解して身に付ける。 (思) 陸上競技における自他の課題を発見し、解決するための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上競技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	5
3 学期授業時数					15.4
総授業時数					77

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年		職業科	①職業「くらしに役立つソーシャルスキル」(東洋館)		
職業コース					
目標	(知) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に関わる技能を身に付ける。				
	(思) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考えたり、実践を評価したりしながら、表現することができる。				
	(学) より良い将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1学期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の予定	①	(知) 職業科の1年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 将来の職業生活について、考えることができる。 (学) より良い将来の職業生活の実現に向けて、取組を行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	1
	「自分を知ろう」 ・自分の好きなことや得意なこと、課題について考える。 ・自分に適した職業について考える。	①	(知) 自分の良いところや得意なこと、改善した方が良いところや苦手なことを他者の意見も聞きながら知ることができる。 (思) 職種について知り、自分に適した職業について考えることができる。 (学) より良い職業生活の実現に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。		2
	「いろいろな職業について知ろう(1)」 【校外学習】 ・職種と仕事内容の理解 ・職場見学 ・職場見学の振り返り	①	(知) いろいろな職業に関する職種と仕事内容を理解することができる。 (思) 職場見学を通して、将来の職業生活について自分で考え、身に付けた方が良いことについて考えることができる。 (学) 職業生活に必要な思考力・判断力・表現力を付けようとする態度を養う。		5
	「ビジネスマナー(1)」 ・職場における言葉遣いや敬語 ・職場でよく使う言葉について	①	(知) 職場における適切な言葉遣いや敬語について知ることができる。 (思) 職場における言葉遣いや敬語の適切な遣い方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場における基本的な言葉を遣うロールプレイングを通して、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。		5
1学期授業時数					13
2学期	「いろいろな職業について知ろう(2)」 【校外学習】 ・職種と仕事内容の理解 ・職場見学 ・職場見学の振り返り	①	(知) いろいろな職業に関する職種と仕事内容を理解することができる。 (思) 職場見学を通して、将来の職業生活について自分で考え、身に付けた方が良いことについて考えることができる。 (学) 職業生活に必要な思考力・判断力・表現力を付けようとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「ビジネスマナー(2)」 ・面接指導 ・JSTとの面談や実習打ち合わせに向けた取組	①	(知) 面接時の適切な服装や態度について知ることができる。 (思) 自己紹介など、自分のことを相手に伝える文章を考え、表現することができる。 (学) JSTとの面談や実習打ち合わせ時に対応することができる実践的な態度を養う。		3
	「いろいろな職業について知ろう(3)」 【校外学習】 ・職種と仕事内容の理解 ・職場見学 ・職場見学の振り返り	①	(知) いろいろな職業に関する職種と仕事内容を理解することができる。 (思) 職場見学を通して、将来の職業生活について自分で考え、身に付けた方が良いことについて考えることができる。 (学) 職業生活に必要な思考力・判断力・表現力を付けようとする態度を養う。		5
	「職場体験実習Ⅰ(事前学習)」 ・実習への心構え ・目標設定(JST面談) ・態度と服装 ・帰宅連絡の仕方	①	(知) 職場体験実習Ⅰにおける基本的な態度や服装、仕事内容を理解することができる。 (思) 実習に向けて意欲や見通しをもち、目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高め、取り組もうとする態度を養う。		2
2学期授業時数					15
3学期	「卒業生から学ぶ(卒業後の生活)」 ・卒業生の社会生活について	①	(知) 卒業後の生活についてを知ることができる。 (思) 自分の進路に向けて、成果と課題を明確にし、解決策を考えて、表現することができる。 (学) 将来の職業生活に向けて生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	コース全体	2
	「職場体験実習Ⅰ(事後学習)」 ・実習における目標の達成割合の自己評価 ・実習報告会	①	(知) 職場体験実習Ⅰにおける目標の達成割合に関する自己評価の方法を知ることができる。 (思) 実習を振り返って、成果と課題を明確にし、実践を評価したり、解決策を考えたりしながら、表現することができる。 (学) 実習での課題を克服し、将来の職業生活に向けて生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	コース学年 学級	3
	「先輩から学ぶ」 ・職業コース3年生による進路報告会 ・1年間のまとめ	①	(知) 先輩の3年間の職場実習の取組の成果を知ることができる。 (思) 先輩の報告を受けて自分を振り返り、進路決定に向けて考えることができる。 (学) 先輩の報告を受けて自分を振り返り、進路決定に向けて、意欲をもって取り組もうとする態度を養う。	コース全体	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		家庭科	①家庭「いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典」(成美堂出版)		
目標	(知)生活の自立に必要な衣食住、消費や環境などに関する基礎的な理解ができるとともに、それに関わる技術を身に付ける。 (思)生活の中にある課題に対する解決策や、実践しながら改善点を考えることができる。 (学)より良い生活の実現に向けて、生活を工夫したり、考えたことを実践したりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「布を使って作ろう」 ・手縫い練習 ・ボタン付け ・ミシンの使い方 ・アイロンの使い方	①	(知)被服の製作に関わる技術を身に付ける。 (思)被服製作において、より良く仕上げるための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学)製作工程を理解し、主体的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	11
	「大掃除をしよう」 ・床の雑巾掛け ・床磨き ・物品の整理整頓	①	(知)清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思)普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学)学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。	学級	2
1学期授業時数					13
2 学期	「調理の基礎知識や技能を身に付けよう」 【食育】 ・昼食メニューの検討 ・調理実習	①	(知)調理における衛生管理について理解し、調理の基本動作を身に付ける。 (思)調理の基本動作をより効率的に行うための工夫を考えたり、表現したりすることができる。 (学)調理の基本動作や効率を考えた動きの習得に向けて主体的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	6
	「食生活について考えよう」 ・栄養素や栄養バランス ・昼食メニューの検討 ・調理実習		(知)食品の種類とその特徴、栄養と栄養素について理解することができる。 (思)栄養バランスが取れた食事について考えたり、表現したりすることができる。 (学)栄養バランスについて主体的に考え、生活の中に取り入れようとする態度を養う。		7
	「大掃除をしよう」 ・床の雑巾掛け ・床磨き ・物品の整理整頓	①	(知)清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思)普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学)学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。	学級	2
2学期授業時数					15
3 学期	「衣服の手入れの仕方を知ろう」 ・洗剤の種類 ・柔軟剤・漂白剤の使い方 ・洗濯の基礎知識(素材別洗濯、表示の見方) ・アイロンの使い方	①	(知)洗剤の働きや衣服の材料に応じた洗剤の種類や洗い方、表示マークなどについて理解することができる。 (思)衣服に応じた洗い方や洗剤の使用、手入れの仕方について考え、表現することができる。 (学)学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。	コース学年 学級	3
	「ライフスタイルについて考えよう」 ・お金の管理 ・様々な購入方法や契約	①	(知)消費生活に関する知識を身に付ける。 (思)売買契約の仕組みや消費者被害の背景とその対応について理解したり、情報の収集・整理をしたりして考えることができる。 (学)消費生活について理解し、主体的に考えて生活に生かそうとする態度を養う。		2
	「大掃除をしよう」 ・床の雑巾掛け ・床磨き ・物品の整理整頓	①	(知)清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思)普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学)学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。	学級	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 職業コース		外国語科	①外国語「くらしに役立つ英語」（東洋館）		
目 標	（知）外国語の音声や文字、語彙や表現、言語の働きなどについて違いに気付くとともに、読むこと・書くことに慣れ親しみ、聞くこと・話すことを通して、実際のコミュニケーション場面で活用することができる技能を身に付ける。 （思）身近で簡単な事柄について理解し、基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを知ったりしながら、コミュニケーションを図ることができる。 （学）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「自己紹介で使える表現」	①	（知）手紙で使う表現や人を表す言葉について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	2.5
	「電話や挨拶で使う表現」	①	（知）電話や挨拶で使う単語や表現について理解し、簡単な文章を読んだり、相手に伝えたりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		2
	「挨拶や疑問文の表現」	①	（知）挨拶や相手の状態を聞きたいときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		2
Ⅰ学期授業時数					6.5
Ⅱ 学 期	「相手に尋ねる表現」	①	（知）相手のしたいことやできることについて尋ねる表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
	「物事を尋ねる表現」	①	（知）物の名前を聞いたり、答えたりする表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		2
	「場所を説明するときの表現」	①	（知）場所を説明するときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		2
	「動詞の現在形・過去形（Ⅰ）」	①	（知）文章を書くときに、現在と過去では動詞の形が変わることを理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		1.5
Ⅱ学期授業時数					7.5
Ⅲ 学 期	「動詞の現在形・過去形（Ⅱ）」	①	（知）文章を書くときに、現在と過去では動詞の形が変わることを理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	1.5
	「人に依頼をするときの表現」	①	（知）人に依頼するときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 （思）学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 （学）学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		2
Ⅲ学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 職業コース		情報科	①情報「大きな字でわかりやすい ワード2019入門」（技術評論社）		
目 標	(知) 身近にあるコンピューターやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付ける。				
	(思) 身近な事象を知ったり、問題を解決したりするために必要な情報と情報技術を適切に活用する力を身に付ける。				
	(学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用し、情報社会に参画しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「パソコンの基礎知識の習得」 ・コンピューター室の使用方法 ・パソコンの扱い方 ・キーボードの配列 ・文字入力	①	(知) コンピューター室の使用のマナーや注意点、正しいパソコンの扱い方を理解することができる。 (思) パソコンの使用法や基本的操作を確認することができる。 (学) パソコンを正しく活用しようとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「文書作成実習（Ⅰ）」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 ・パソコン技能検定に向けた取組	①	(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 正確に文字を入力し、体裁を整えることができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業しようとする態度を養う。		6
	「情報リテラシー（Ⅰ）」 ・SNSとインターネットの活用		(知) SNSやインターネット使用の基本的な活用を理解することができる。 (思) SNSやインターネットの正しい使用方法を調べたり、活用方法を確認したりすることができる。 (学) SNSやインターネットを正しく活用しようとする態度を養う。		2
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「文書作成実習（Ⅱ）」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 ・パソコン技能検定に向けた取組	①	(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 正確に文字を入力し、体裁を整えることができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業しようとする態度を養う。	コース学年 学級	9
	「プレゼンテーション資料作成実習」 ・プレゼンテーション資料作成ソフトの基本操作 ・資料作成 ・発表		(知) プレゼンテーション資料作成ソフトの基本的な操作方法を理解することができる。 (思) プレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。 (学) プレゼンテーション資料作成ソフトを活用しようとする態度を養う。		5
	「情報リテラシー（Ⅱ）」 ・SNSとインターネット活用上の注意点		(知) SNSやインターネットを使用する際に注意する点を理解することができる。 (思) SNSやインターネット上で起きるトラブルの原因などを調べることができる。 (学) SNSやインターネット上で起きるトラブルに巻き込まれないように正しく活用しようとする態度を養う。		1
2学期授業時数					15
3 学 期	「タブレット端末実習」 ・タブレット端末の活用 ・学習管理ツールの使用方法 ・パスワード入力 ・返信方法		(知) タブレット端末の基本的な使用方法について理解することができる。 (思) 学習管理ツールの使用方法を知り、パスワードを入力してログインをしたり、文章を入力したりすることができる。 (学) 正しい使用法を身に付け、活用しようとする態度を養う。	コース学年 学級	2
	「進路報告会に向けたプレゼンテーション資料の作成」 ・プレゼンテーション資料作成ソフトの基本操作 ・資料作成 ・発表練習		(知) プレゼンテーション資料作成ソフトの基本的な操作方法を理解することができる。 (思) プレゼンテーション資料を作成し、相手が分かりやすいように資料を工夫することができる。 (学) プレゼンテーション資料作成ソフトを活用しようとする態度を養う。		5
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		家政科	①家政「くらしに役立つ家庭」（東洋館）		
目 標	(知) 生活に関わる産業について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。				
	(思) 生活産業に関わる課題について、社会人としての倫理観を踏まえて解決しようとする力を身に付ける。				
	(学) より良い社会の構築を目指して自分から学び、社会貢献に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「オリエンテーション」	①	(知) 家政科の学習や流れについて理解し、見通しをもつことができる。 (思) より良い商品・サービスの生産や提供をするために必要な課題について考えることができる。 (学) 生活産業の意義と役割などについて自分から学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	1
	「エプロンを作ろう」 ・エプロンの製作	①	(知) 被服の製作に関わる技術を身に付ける。 (思) 被服製作において、より良く仕上げるための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学) 製作工程を理解し、主体的に行おうとする態度を養う。		12
1 学期授業時数					13
2 学 期	「接客の基礎知識と技能を身に付けよう」 ・接客におけるルールやマナーに関する学習 ・接客技能検定に向けた取組 ・社会人講師による指導	①	(知) 接客技能検定の手順について知り、技術を身に付ける。 (思) 接客技能検定に向けた取組を行う中で、課題に気付き、解決策を考えることができる。 (学) 接客技能検定に向けた取組に主体的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	12
	「校内喫茶をしよう（1）」 ・事前学習 ・校内喫茶の見学 ・メニュー決め	①	(知) 喫茶サービスの意義や役割について理解し、サービス提供に必要な技術を身に付ける。 (思) より良い喫茶サービスを提供するための課題を見付けたり、工夫について考えたりすることができる。 (学) より良い喫茶サービスを提供するために自分から考えたり、主体的に行動したりしようとする態度を養う。		3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「校内喫茶をしよう（2）」 ・役割練習 ・接客販売 ・事後学習	①	(知) 喫茶サービスの意義や役割について理解し、サービス提供に必要な技術を身に付ける。 (思) より良い喫茶サービスを提供するための課題を見付けたり、工夫について考えたりすることができる。 (学) より良い喫茶サービスを提供するために自分から考えたり、主体的に行動したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		流通・サービス科	①流通・サービス「サクッとわかるビジネス教養マーケティング」 (新星出版社)		
目標	(知) 流通・サービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (思) 流通業やサービス業に関わる課題について、社会人としての倫理観を踏まえて解決しようとする力を身に付ける。 (学) より良い社会の構築を目指して自分から学び、社会貢献に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「オリエンテーション」	①	(知) 流通・サービス科の学習や流れについて理解し、見通しをもつことができる。 (思) より良いサービスを提供するために必要な課題について考えることができる。 (学) 流通業やサービス業の意義と役割などについて自分から学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	1
	「事務の基礎知識と技能を身に付けよう」 ・道具の使い方(はさみ、カッターナイフ、定規、ステープラーなど) ・軽作業(クリップ留め、ボールペン組立て、安全ピンやねじの扱い、メール便の仕分け、部品の袋詰めなど)		(知) はさみやカッターナイフ、定規などの道具の安全な扱い方を身に付ける。 (思) 軽作業において、より良く仕上げるための工夫について気付いたり、考えたりすることができる。 (学) 事務の基礎の内容を自分から学ぼうとする態度を養う。		12
	「清掃の基礎知識と技能を身に付けよう(1)」 ・清掃技能検定に向けた取組(タオルの扱い方) ・校内清掃(階段)		(知) タオルの扱い方について知り、技術を身に付ける。 (思) 清掃技能検定に向けた取組を行う中で、課題に気付き、解決策を考えることができる。 (学) 清掃技能検定に向けた取組や清掃業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		13
1学期授業時数					26
2 学期	「商品管理の基礎知識と技術を身に付けよう」 ・流通・物流技能検定に向けた取組(衛生面についての確認、野菜の袋詰めと値段付け、商品陳列(先入れ先出しなど))	①	(知) 商品の包装や袋詰め、値段付けや運搬・陳列の正しい手順や技術を身に付ける。 (思) 適切な商品の取扱や管理方法について考えることができる。 (学) 流通・物流技能検定に向けた取組や商品管理業務を主体的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	14
	「清掃の基礎知識と技能を身に付けよう(2)」 ・清掃技能検定に向けた取組(タオル・自在ぼうき・モップの扱い方) ・校内清掃(階段) ・社会人講師による指導		(知) タオルや自在ぼうきの扱い方について知り、技術を身に付ける。 (思) 清掃技能検定に向けた取組を行う中で、課題に気付き、解決策を考えることができる。 (学) 清掃技能検定に向けた取組や清掃業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		16
2学期授業時数					30
3 学期	「清掃の基礎知識と技能を身に付けよう(3)」 ・清掃技能検定に向けた取組(モップ・ダスタークロス・スクイージーの扱い方) ・校内清掃(廊下・窓ガラス) ・社会人講師による指導		(知) モップやダスタークロス、スクイージーの扱い方について知り、技術を身に付ける。 (思) 清掃技能検定に向けた取組を行う中で、課題に気付き、解決策を考えることができる。 (学) 清掃技能検定に向けた取組や清掃業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	14
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		福祉科	①福祉「やさしい日本語とイラストでわかる介護のしごと」（日本医療企画）		
目標	(知) 福祉に関わるることについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (思) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決しようとする力を身に付ける。 (学) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自分から学び、社会貢献に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「介護の基礎知識と技能を身に付けよう」 ・介護の基礎 ・高齢者疑似体験 ・食事介助 ・社会人講師による指導	①	(知) 高齢者疑似体験や事例を通して、高齢者の様子について知ることができる。 (思) 支援を適切に行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学) 高齢者等に対して自分から主体的に支援に関わろうとする態度を養う。	コース学年 学級	6.5
1 学期授業時数					6.5
2 学期	「介護の知識と技能を身に付けよう」 ・杖歩行 ・車椅子への移乗 ・体位変換 ・介護の仕事内容・現場について ・社会人講師による指導	①	(知) 高齢者の様子について知り、歩行や日常生活を支援するための技術を身に付ける。 (思) 安全に生活支援を行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学) 高齢者等に対して自分から主体的に支援しようとする態度を養う。	コース学年 学級	7.5
2 学期授業時数					7.5
3 学期	「介護を必要とする人への理解を深めよう」 ・心と体の理解 ・介護を必要とする人の理解	①	(知) 高齢者の様子について知り、老化や認知症に関する理解を深める。 (思) 支援を適切に行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学) 高齢者等に対して自分から主体的に支援しようとする態度を養う。	コース学年 学級	3.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年		特別活動			
職業コース					
目標	(知) 友達や先輩と協働して様々な活動を行い、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。				
	(思) 集団生活における課題を見だし、解決するために話し合ったり、意思決定をしたりすることができる。				
	(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「学級組織作り(1)」 ・学級組織作り ・係分担 ・1学期の行事・取組を知る。 ・1学期の目標決め ・掲示物の制作		(知) 新しい友達や1学期の取組内容について知り、学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について考えることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	3
	「学部集会(生徒会活動)(1)」 ・新入生歓迎会		(知) 生徒会が主催する活動の目的を理解し、集団の形成者としての行動を身に付ける。 (思) 生徒会が主催する活動に対して計画や課題解決に向けて話し合うことができる。 (学) 集団の形成者としての自覚をもち、友達や先輩と協働して学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
	「校外学習の取組(1)」【校外学習】 ・校外学習の計画 ・校外学習の実施		(知) 課題解決に向けて話し合いを進めることを通して、他者理解を深め、コミュニケーションの取り方について理解することができる。 (思) 他者理解を深めることを通して、人間関係の特質や相手や状況に応じてコミュニケーションを取る方法について判断し、行動することができる。 (学) 集団や相手に応じた行動の仕方や円滑な人間関係の形成を身に付けようとする態度を養う。	コース全体 学級	3
	「ホームルームでの取組(1)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	4
	「1学期の振り返りと夏休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見だし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
1学期授業時数					13
2 学 期	「学級組織作り(2)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の行事・取組を知る。 ・2学期の目標決め ・掲示物の制作		(知) 2学期の取組内容について知り、学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について考えることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	1
	「ホームルームでの取組(2)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。		5
	「校外学習の取組(2)」【校外学習】 ・校外学習の計画 ・校外学習の実施		(知) 課題解決に向けて話し合いを進めることを通して、他者理解を深め、コミュニケーションの取り方について理解することができる。 (思) 他者理解を深めることを通して、人間関係の特質や相手や状況に応じてコミュニケーションを取る方法について判断し、行動することができる。 (学) 集団や相手に応じた行動の仕方や円滑な人間関係の形成を身に付けようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見だし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		2
2学期授業時数					15
3 学 期	「学級組織作り(3)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の行事・取組を知る。 ・3学期の目標決め ・掲示物の制作		(知) 3学期の取組内容について知り、学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について考えることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	1
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る。 ・投票 ・開票 ・委任状渡し		(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的な学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学部 学級	2
	「学部集会(生徒会活動)(2)」 ・3年生を送る会		(知) 生徒会が主催する活動の目的を理解し、集団の形成者としての行動を身に付ける。 (思) 生徒会が主催する活動に対して計画や課題解決に向けて話し合うことができる。 (学) 集団の形成者としての自覚をもち、友達や先輩と協働して学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。		1
	「ホームルームでの取組(3)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	1
	「1年間の振り返りと春休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見だし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第1学年 職業コース		総合的な探究の時間			
目 標	(知) 実生活と自己の関わりから課題を見付けたり、解決したりするために必要な知識や技能を身に付ける。				
	(思) 課題を解決していくために必要な情報を集め、整理・分析したり、まとめたりして表現することができる。				
	(学) 課題の解決に向けて主体的・協働的に活動し、より良い社会を実現しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「ボランティア活動しよう(1)」【校外学習】 ・オリエンテーション ・地域清掃		(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動するために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	4
	「平和について考える」 ・オリエンテーション ・平和集会に向けた取組 ・平和集会		(知) 「平和」の意味や生活の中にある「平和」について考えたり、平和都市広島で生活する人間として、どのような平和の発信ができるかについて考えたりすることができる。 (思) 情報機器を使用して自分から調べたり、情報を取捨選択したりしながら、自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 課題解決に取り組み、周囲へ発信したり、友達と一緒に活動したりすることを通して、友達や社会とのより良い関係を作ろうとする態度を養う。		9
1 学期授業時数					13
2 学 期	「ボランティア活動しよう(2)」【校外学習】 ・地域清掃 ・地域や社会のためにできること		(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動するために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	15
2 学期授業時数					15
3 学 期	「ボランティア活動しよう(3)」【校外学習】 ・地域清掃		(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動するために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	3
	「職業コース3年生を送る会」【校外学習】 ・オリエンテーション ・会に向けた準備 ・ありがとうの会 ・お別れ会		(知) 在校生としての立場や、送る会に向けた取組における自分の役割・活動内容を理解して行動することができる。 (思) 準備を進めながら、より良い活動するための意見を伝えたり、話し合ったりすることができる。 (学) 卒業生に対するお祝いや感謝の気持ちをもち、伝えようとする態度を養う。		4
3 学期授業時数					7
総授業時数					35